

普通の勾配法

$$\min f(x)$$

$$\nabla = \left(\frac{\partial}{\partial x_1}, \frac{\partial}{\partial x_2}, \dots, \frac{\partial}{\partial x_d} \right)^T$$

更新式 $x^{k+1} \leftarrow x^k - \alpha \nabla f(x^k)$

↑
学習率

右辺 $x^k - \alpha \nabla f(x^k)$ は次のように書き直せる,

$$x^k - \alpha \nabla f(x^k) = \operatorname{argmin}_x Q(x, x^k)$$

ここで関数 $Q(x, x^k)$ は次で定義される,

$$Q(x, x^k) = f(x^k) + \underbrace{\langle \nabla f(x^k), x - x^k \rangle}_{f(x) \text{ の } x = x^k \text{ まわりの 1 次展開}} + \frac{1}{2\alpha} \underbrace{\|x - x^k\|_2^2}_{\text{正則化 (遠くに行かない)}}$$

つまり、 $f(x^k)$ の最適化のために、各行レゾリューションで関数 $Q(x, x^k)$ を最適化している。

このことは、 $\nabla Q(x, x^k) = 0$ を x について解くと更新式 $x^{k+1} \leftarrow x^k - \alpha \nabla f(x^k)$ が得られることから確認できる。

$$\nabla Q(x, x^k)$$

$$= \nabla \left\{ f(x^k) + \langle \nabla f(x^k), x - x^k \rangle + \frac{1}{2\alpha} \|x - x^k\|_2^2 \right\}$$

$$= \nabla \langle f(x^k), x \rangle + \frac{1}{\alpha} (x - x^k)$$

$$= \nabla f(x^k) + \frac{1}{\alpha} (x - x^k)$$

これを x について解いて

$$x = x^k - \alpha \nabla f(x^k)$$

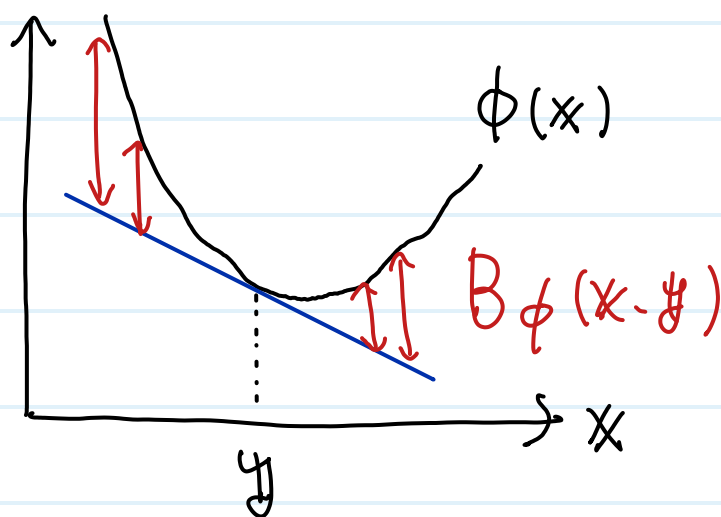
鏡像降下法は、 $\|x - x^k\|_2^2$ を
Bregman divergence に置き換えたもの。

1. Bregman divergence とは.

任意の凸関数 $\phi(x)$ は、定義から

$$\phi(x) \geq \phi(y) + \underbrace{\langle \nabla \phi(y), x - y \rangle}_{y \text{ の接線の傾き}}$$

を満たす。つまり、任意の点 y での接線
よりも常に上側に値がある。



凸関数 ϕ の Bregman divergence B_ϕ は.

$$B_\phi(x, y) = \phi(x) - \phi(y) - \langle \nabla \phi(y), x - y \rangle$$

で定義する.

例. $\phi(x) = \sum_i x_i \log x_i$ とすると

$B_\phi(x, y)$ は、KL 情報量となる.

2. 鏡像降下法

普通の勾配法の $\|x - x^k\|_2^2$ を

$B_\phi(x, x^k)$ で置き換えて、更新式を得る.

x^{k+1}

$$= \operatorname{argmin}_x \left\{ f(x^k) + \langle \nabla f(x^k), x - x^k \rangle + \frac{1}{\alpha} B\phi(x, x^k) \right\}$$

$$= \operatorname{argmin}_x \left\{ f(x^k) + \langle \nabla f(x^k), x - x^k \rangle \right.$$

$$\left. + \frac{1}{\alpha} \left(\phi(x) - \phi(x^k) - \langle \nabla \phi(x^k), x \rangle \right) \right\}$$

$$= \operatorname{argmin}_x \left\{ \langle \nabla f(x^k), x \rangle + \frac{1}{\alpha} \left(\phi(x) - \langle \nabla \phi(x^k), x \rangle \right) \right\}$$

$$= \operatorname{argmin}_x \left\{ \langle \nabla f(x^k) - \frac{1}{\alpha} \nabla \phi(x^k), x \rangle + \frac{1}{\alpha} \phi(x) \right\}$$

そこで関数 $P(x, x^k)$ を次のように定義する.

$$P(x, x^k) = \langle \nabla f(x^k) - \frac{1}{\alpha} \nabla \phi(x^k), x \rangle + \frac{1}{\alpha} \phi(x)$$

$\nabla P(x, x^k) = 0$ を満たすように x を更新.

$$\nabla p(x, x^k)$$

$$= \nabla \left\langle \nabla f(x^k) - \frac{1}{\alpha} \phi(x^k), x \right\rangle + \frac{1}{\alpha} \nabla \phi(x)$$

$$= \nabla f(x^k) - \frac{1}{\alpha} \nabla \phi(x^k) + \frac{1}{\alpha} \nabla \phi(x)$$

これは

$$\nabla \phi(x^{k+1}) = \nabla \phi(x^k) - \alpha \nabla f(x^k)$$

のときにも①にたよる。ここで、 $\nabla \phi$ の逆関数を用いれば、 x^{k+1} について、解くことが出来る

x を θ と書いて、 $y = \nabla \phi(\theta)$ と定義すると、更新式はまさに

$$y^{k+1} \leftarrow y^{k+1} - \alpha \nabla f(\theta)$$

とたよる。これも情報幾何である

例. $\phi(x) = \sum_i x_i \log x_i$ とすると

$$\nabla \phi(x) = \mathbb{1} + \log x \quad \text{であるから}$$

$$\mathbb{1} + \log x^{k+1} = \mathbb{1} + \log x^k - \alpha \nabla f(x^k) \quad \text{より}$$

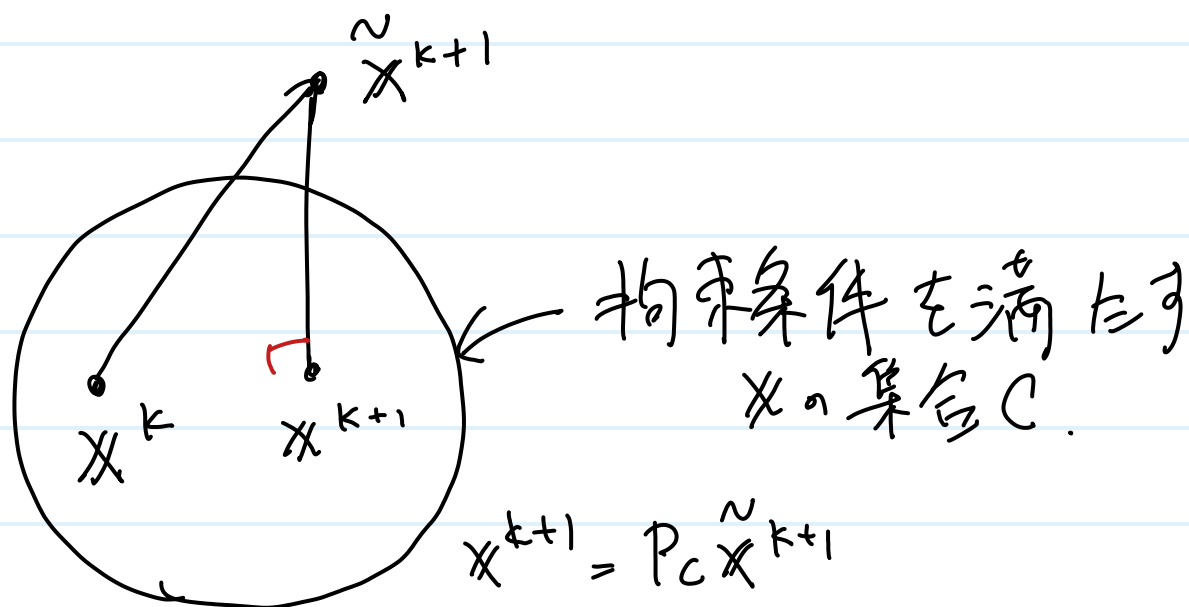
$$x^{k+1} = x^k \exp(-\alpha \nabla f(x^k))$$

である。

補足:

つまり、 x^k には拘束条件はなかった。
 でも、 x^k に拘束条件がある場合はどうする？

イテレーションを進めて、 x^k が拘束条件をやぶって
 しまったら、拘束条件を満たす x の集合の中から、
 最も近い点に更新する。



つまり、 $\min_{x \in C} f(x)$ には

$$x^{k+1} \leftarrow P_C (x^k - \alpha \nabla f(x^k))$$

普通の勾配法なら P_C はユークリッド射影。

鏡像降下法では, Bregman divergence の意味での射影を考える。(Bregman projection)

例えば, $C = \Delta^d = \{x \mid x_d \geq 0, \sum_d x_d = 1\}$

とし, $\phi(x) = \sum_i x_i \log x_i$ とすると, 勾束条件を

満たすための \tilde{x}^{t+1} があり, Δ^d 中の最も近い点は

$$x^{t+1} = \operatorname{argmin}_{x \in \Delta^d} B\phi(\tilde{x}^{t+1}, x)$$

$$= \operatorname{argmin}_{x \in \Delta^d} \sum_i \tilde{x}_i^{t+1} \log \frac{\tilde{x}_i^{t+1}}{x_i}$$

$$= \sum_i \tilde{x}_i^{t+1} - \sum_i \tilde{x}_i^{t+1} x_i$$

を解くことで求める。

ラグランジュ関数を用いて $\sum_i \alpha_i = 1$ を課しながら

最適点 x^{t+1} を求めると、次を得る。

$$\alpha_i^{t+1} = \frac{\tilde{\alpha}_i^{t+1}}{\sum_i \tilde{\alpha}_i^{t+1}}$$

以上から、 $\min_{x \in \Delta^n} f(x)$ を $\phi(x) = \sum_i \alpha_i \log \alpha_i$

の鏡像降下法で更新するアルゴリズムは...

